

みずなみ議会ちゃんねる。

高校生と議員の意見交換会
令和6年度決算認定など

市議会ホームページ



No.73

令和7年
11月1日号



「桜堂薬師の紅葉」

投稿者 中川 光 様 (寺河戸町)



表紙等に掲載する写真を募集しています。
詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

目 次

委員会の審査結果報告	2～5	高校生との意見交換会・議会報告会	13
市政一般質問	6～11	委員会の活動報告・勉強会	14～15
令和6年度決算 事業評価	12	議決結果一覧・編集後記	16

常任委員会 審査報告

予算決算委員会

一般会計

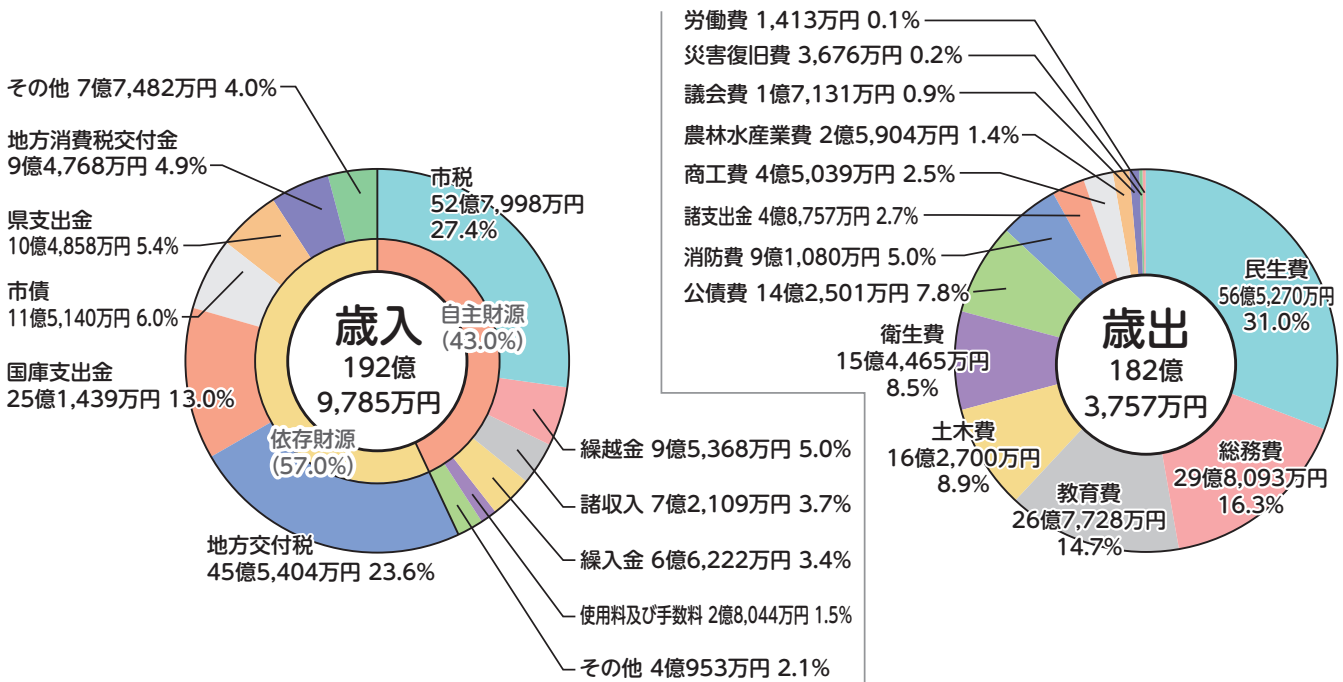
令和7年
9月定例会

9月定例会に上程され所管の委員会に付託された議案について、診査した内容の一部を抜粋して紹介します。

「物価高騰」に対し市民生活を支援

市民生活に大きな影響を与えている「物価高騰」に対して、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの国庫補助を活用し、低所得世帯や子育て世帯などに対し、様々な支援が実施されました。

◇一般会計歳入歳出決算の内訳



一般会計の主な質疑

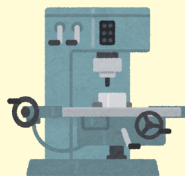
固定資産税は評価替えにより減少

固定資産税(歳入) 決算額 24億787万円

固定資産税は、土地や家屋、事業用の機械や工具などの資産に賦課される地方税です。

問 令和5年度の固定資産税が24億4,261万円の歳入であったのに対し、令和6年度は24億787万円の歳入に減少している要因はなにか。

答 令和6年度は、3年に一度の固定資産評価替えの年であり、家屋の経年による評価額の減少を課税に反映させたことによるものである。



公共施設がオンラインで予約可能に

公共施設予約システム導入事業

決算額 469万3千円

市内の公共施設に、オンラインで予約・決済できるシステムが導入されました。

問 システムの導入により、今後、すべての公共施設でオンラインによる予約・決済ができるようになるのか。

答 令和6年度までに、全ての公共施設にシステムを導入した。現在オンラインで予約・決済が可能なのは、体育館などのスポーツ施設のみである。その他の施設については、予約状況のみが確認できる状況であるが、今後、その他の施設についても予約・決済ができるよう順次整備していく。

令和6年度決算認定

事業の決算について、議会が可決した予算に則って「適正に事業が進められたか」や「お金の使い方に問題がなかったか」等の視点から委員会で審査を行っています

特別会計・公営企業会計

◇特別会計・公営企業会計 決算額

会 計			歳入額	歳出額	差引額
特別会計	後期高齢者医療事業特別会計		6億8,021万円	6億6,418万円	1,603万円
	国民健康保険事業特別会計		35億2,853万円	34億4,987万円	7,866万円
	介護保険事業特別会計		36億9,277万円	35億8,193万円	1億1,084万円
	駐車場事業特別会計		5,204万円	4,232万円	972万円
公営企業会計	水道	収益的収支	11億1,972万円	10億9,545万円	2,427万円
		資本的収支	9,416万円	4億 975万円	-3億1,559万円
	下水道	収益的収支	10億8,981万円	10億7,656万円	1,325万円
		資本的収支	3億5,379万円	6億7,532万円	-3億2,153万円

※ 公営企業会計の資本的収支差引額のマイナスは、現金の支出を伴わない減価償却費等により不足額が補填されています。

凍結による危険性を考慮

南垣内北野線道路改良事業 決算額 3,842万7千円

辺地対策事業債を活用して、日吉町北野地区と南垣外地区の生活道路を拡幅する工事が行われています。

問 予算執行率が38.7%と低く、令和7年度に繰り越した理由は何か。

答 南垣外北野線の工事における迂回路が、冬期に路面凍結の危険性が高かったため、1月から3月までの間、本線工事を一旦中止し本線を通行可能としたことで、工事が行えなかった影響によるものである。

特別会計・公営企業会計の主な質疑

早期発見、早期治療のために特定健診を

特定健診事業 決算額 2,169万8千円

国民健康保険加入者で、40歳から74歳までの方を対象に、糖尿病、高血圧症、脂質異常症といった生活習慣病の発症予防と重症化予防を目的として特定健診が実施されています。

問 特定健診の受診率が向上している。最近は目立つはがきを送っていただいているが、効果はどうか。

答 受診勧奨についてはA4サイズのハガキで、40歳になられた方、毎年受診して見える方など区分して、内容を変えた受診通知を送付している。
また、特定健診以外で、普段の病院での検査結果を提供していただけるように別のはがきを送付している。はがきを送付した20.7%の方から反応があり、それぞれ受診率に効果が出ている。

予算決算委員会

令和7年度補正予算の審査

危険木の伐採経費を増額

400万円

災害防止森林整備事業

気象、枯損、過度な成長等により倒木の危険性が高い樹木で、倒木により家屋、社会福祉施設、公共施設、道路、河川に悪影響を及ぼす恐れのある樹木の伐採に係る補助金交付事業を増額します。

問 増額となった理由は。

答 家屋や道路に対する危険木伐採を行う件数が、見込みよりも多かったため。



伐採前



伐採後

屋内運動場に空調設備を計画

680万円

屋内運動場空調設備整備事業（中学校）

瑞浪中学校の屋内運動場に空調設備を設置するための実施設計を行います。

問 瑞浪中学校の屋内運動場の空調設備の工事スケジュールは。

答 本年度に実施設計を行い、令和8年度に補助金等の申請、令和9年度に工事を実施予定である。工事においては、学校への負担を考慮して、夏休み期間中に実施する予定である。

日吉町など豪雨災害被害ヶ所を復旧

2,270万円

現年土木施設補助災害復旧事業

現年土木施設単独災害復旧事業

9月11日未明の豪雨により発生した道路と河川の災害について、日吉町の市道深沢・北野線など3路線、深沢川、細久手川、白倉川など9河川及び、市内約30か所の復旧工事を行います。



豪雨により崩落した法面

総務厚生学教委員会

稲津地域子育て支援センターを移転

瑞浪市地域子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

現在の建物の老朽化により、令和8年度より稲津地域子育て支援センターを稲津こども園に併設します。

稲津こども園の空き部屋を改装し、支援センターとして活用します。

問 稲津こども園の一室へ移転するとのことだが、利用者に影響はないか。

答 移転前の面積と比べ少し狭くなるが、利用者のスペースは確保できているため問題ない。



併設される稲津こども園

市立小中学校で使用する学習用タブレット端末を更新

1億5,180万円

財産の取得について

市立小中学校で使用する学習用タブレット端末3,100台を更新します。

問 取得金額が高額にも関わらず随意契約とするのはなぜか。

答 国の補助要件の一つとして「共同調達」が定められており、県内で行われた共同調達により決定した当該業者と随意契約するものである。

地域経済建設委員会

設計・仕様変更などに伴う契約内容の変更

7,764万1千円 増額

工事請負変更契約の締結について

釜戸町宿地内の工場用地造成関連道路改良工事の設計・仕様の変更に伴い、工事請負変更契約を締結します。

問 今回の変更契約における増額分は、工業用地の売却額に転嫁されるのか。

答 契約変更による増額分は、売却額に転嫁される。

問 労務単価はどの程度上昇したか。

答 約4.5%上昇した。



釜戸町宿地内の工場用地

陶公民館体育室を廃止

瑞浪市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

施設利用の減少により、令和7年度で陶公民館の体育室を廃止します。

問 陶公民館の体育室は、福祉団体との複合施設であるが、今後のスケジュールと活用方針はどのようか。

答 体育室の利用は今年度で終了する。後利用については、今後、福祉団体と協議していく。

市政一般質問



一般質問画像
検索はこちらから

市政一般質問では、議員が市長等に対し、行政全般にわたり市の施策や方針など諸問題について質問し、答弁を求めます。9月定例会では11人の議員が18の標題にわたって質問をしました。質問した議員ごとに主な質問を掲載しています。

奥村 一仁（新政みずなみ）

- ・乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の実施について

熊谷 隆男（新政みずなみ）

- ・市民が抱える危機感と不安について

成瀬 徳夫（新政みずなみ）

- ・自然災害対策について
- ・次世代エネルギーについて
- ・地方創生伴走支援制度について

大久保 京子（新政みずなみ）

- ・土岐橋及び周辺道路整備について
- ・男女共同参画社会とフェムテック活用について

柴田 幸一郎（新政みずなみ）

- ・地方創生2.0基本構想において、これまでの取り組みの課題とされた「人口減少を受け止めた上での対応の不足」について

辻 正之（新政みずなみ）

- ・高齢者の介護予防・生きがいづくりについて
- ・公共交通システムの強化

榛葉 利広（公明党）

- ・市役所業務へのDXの積極的活用について
- ・選挙においての投票率の向上と投票支援について

棚町 潤（新政みずなみ）

- ・災害時のペット避難について

樋田 翔太（新政みずなみ）

- ・リニア中央新幹線工事による影響について

三輪田 幸泰（新政みずなみ）

- ・プール授業等と施設について

渡邊 康弘（新政みずなみ）

- ・未来を見据えた、規則・制度の整備について
- ・小・中学校における熱中症対策について



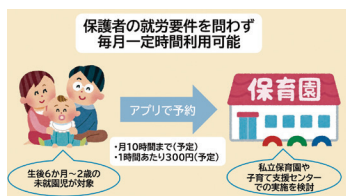
奥村 一仁議員（新政みずなみ）



こども誰でも通園制度の実施方式、利用時間、利用料は

問 来年度から実施予定である、こども誰でも通園制度の実施方式や、利用時間、利用料についてどのように考えているか。

答 実施方式は、制度の利用者が年間を通じて安定的に通園できるよう、保育所等とは別に専用定員枠を設け、在園児と合同で保育する形態での実施を目指している。現在、私立保育園と協議を行っており、安定的なサービスの提供が確保できるよう地域子育て支援センターでの実施についても検討している。利用時間は1人あたり月10時間まで、利用料は1時間あたり300円を予



定している。 【健康福祉部次長】

一時預かり保育との併用可能

問 「一時預かり保育事業」と「こども誰でも通園制度」は、目的が異なるものの、共通する趣旨や事業内容が多くある。棲み分けや併用についてどのように考えているか。

答 一時預かり保育事業は、保護者の突発的な事情で一時的に子どもを預かることが目的であり、こども誰でも通園制度は、子どもが家庭だけでは得られない経験を通して成長できるように子どもの育ちを支えることを目的としている。そのため、こども誰でも通園制度の利用に関しては、一時預かり保育事業のような突発的な利用ではなく、定期的に継続利用していただきたいと考えている。併用については可能なので、保護者にはそれぞれの目的や条件を適切に理解し利用していただくよう周知していく。 【健康福祉部次長】



熊谷 隆男議員 (新政みずなみ)



農地以外の有害鳥獣対策は

問 農地以外の河川・道路・宅地・建物・墓地等への対応はどのようなか。

答 道路や河川などの公共施設については、地域からの通報や情報提供を受けて現地を確認し、その機能や安全性に支障がある場合には必要に応じて復旧を行っている。

有害鳥獣被害は、突発的に発生しやすく、また有害鳥獣の行動範囲が広いため根本的な予防対策は難しい。

【理事(兼)経済部長・建設部長】



有害鳥獣イノシシ

空き家対策で地域の安全を

問 空き家対策は長期的継続事業なのか。それは市内全地域の社会インフラや安全を

長期的に継続維持することを保証するものか。

答 空き家の利活用により、移住による人口増、定住の促進、地域コミュニティの維持及び活性化に繋がることが期待できる。

また、地域の安全性を高めると共に、公衆衛生の悪化、景観の阻害などが防げられる。

このように、空き家対策は様々な効果があることから、時限的な取り組みではなく長期的に継続して実施する必要がある。

道路、橋梁、上下水道などの社会インフラについては、老朽化したものの更新や維持管理の継続が課題となっているが、損傷が軽微な段階で修繕することで全体的な耐用年数を延ばし、コストを削減する「予防保全」に努める。移住定住にはインフラの状況が重要であるが、その地域の状況により縮小や廃止もありえる。よって、移住定住施策が市全域のインフラ全てを継続維持することを保証するものではない。

【市長】



成瀬 徳夫議員 (新政みずなみ)



ゲリラ豪雨に対する対策を特定財源を確保しながら進める

問 ゲリラ豪雨による河川への流出量の増加と流下能力の不足対策をどのように進めるか。

答 日吉町、釜戸町、陶町といった急峻な地形の多い地域は、山間部から一気に水が流れ込むため、豪雨時には河川の流量が増える。さらに、気候変動により将来的にその頻度や雨量が増すことが予想されており、対策は大きな課題と認識している。周辺家屋へ影響を及ぼす恐れのある個所を優先的に、特定財源を確保しながら対策を進める。 【建設部長】

伴走支援制度の最終目標を3項目とした

問 地方創生伴走支援制度による現在の進捗

状況はどのようなか。

答 地方創生支援官と本市の観光の課題について、テーマを設定し意見交換会をおこないインバウンド調査事業の調査結果をもとに、①「今後の観光施設に関する方向性を決定すること」②「市と観光協会の役割分担を明確化し観光施策を推進すること」③「観光振興に寄与する新規施策を立案すること」の3つの新規政策を立案した。国においても地方創生伴走支援制度の中間発表会が開催され支援官より進捗状況や最終的な目標について発表がおこなわれた。今後、10月には支援官に来訪いただき、近隣の観光協会などの視察及び意見交換を予定している。 【理事(兼)経済部長】



地方創生支援官の本市調査



大久保 京子議員（新政みずなみ）



土岐橋及び 周辺道路整備について

問 土岐橋架替工事の延期の理由と文化センター前線の道路改良はどのようなか。

答 岐阜県多治見土木事務所に確認したところ、橋桁の主要材料である鋼材の品薄により資材調達までの期間が計画時点より長く必要となり、上部工の製作に遅れが生じている。令和8年1月頃に現在製作中の橋桁を現地で架設を行った後、桁の上に設ける床版等の工事を令和8年10月頃までに行う予定で、土岐橋本体の完成は令和9年夏頃と聞いている。文化センター入口付近から明德橋ま



撤去された土岐橋

でについては、歩道を含む2車線片歩道の道路改良とする。改良区間は道路面が低く必要な堤防高が確保されていないが、道路高はそのまま河川側に特殊堤を設置し堤防高を45cm嵩上げする計画である。【建設部長】

女性活躍とフェムテックの 活用について

問 働く女性が抱える健康課題の解消による継続就労や業務パフォーマンス向上にフェムテックの活用をどのように考えているか。

答 フェムテックについては、近年女性特有の健康課題の解決をサポートするツールとして注目されている。女性活躍推進の観点から、男女共同参画を推進する各種取り組みの中で言葉を知ること、その意義や背景を理解することから始めていきたいと考える。

【みずなみ未来部長】



柴田 幸一郎議員（新政みずなみ）



担い手不足対策を考慮して 外国人との共生が必要

問 担い手不足によって、民間サービスは外国人に頼らざるを得ない。例えば、市内の介護業者はベトナムのダナン市から優秀な人材が派遣されている。建設や製造も同様である。共生できる社会づくりが必要ではないか。

答 ホームページの多言語変換機能の掲載や4か国語対応版のごみ出しルールチラシとアプリなど、外国人が地域住民として安心して暮らせる様々なサービスを提供している。



ダナン市との交流

また、総合文化センターで「やさしい日本語教室」を開催し、多文化交流を促進するための機会を提供している。多文化共生社会を目指した地域づくりを進めていく。

【みずなみ未来部長】

地域住民の意欲向上と 仲間意識の向上が必要

問 定住促進のために、地域住民の意欲向上と仲間意識の向上が必要ではないか。

答 「地域の魅力をオールみずなみで発信する」を重点施策とし、定住促進に努めている。自らが住んでいる地域に対して誇りと貢献意識を育むことが、地域住民の意欲向上となる。また、青少年育成や町おこしなどのまちづくり活動に参画することが仲間意識の向上につながり、地域の活性化が図られると考える。

【みずなみ未来部長】



辻 正之議員（新政みずなみ）



ささエールポイント制度

問 ささエールポイント制度の見直し内容とその後の状況はどのようなか。

答 高齢者への支援活動を行ったささエール会員に対し、活動に応じてポイントを付与し、商品券と交換する事ができる制度で、ささエール会員自身の介護予防や地域での支え合い活動の活性化を目的としている。主な活動内容は、高齢者施設や地域の高齢者サロン、集いの場等での補助活動、ゴミ出しなど日常生活に支援が必要な高齢者の支援活動等で、より多くの参加に繋がるよう、ポイント付与の内容を見直し、ポイントの繰越しを可能にするとともに、20ポイントで1,000円の商品券交換を5ポイントで500円の商品券に交換できるよう変更した。変更後の会員数、活動件数はともに増加している。【健康福祉部長】

観光デマンド交通

問 いこCarのWeb及びLINE予約、時刻表へ観光マップの二次元コード貼付を行ってはどうか。

答 観光デマンド交通いこCarの予約については、利用日の1週間前から前日の17時までには商工観光課へ電話にて申し込むこととしている。Web予約等についても検討したが、利用が年間で50件ほどであるなか、予約状況を随時確認することが困難であること、専用の予約フォーム構築に費用が掛かること、から電話での予約としている。また、時刻表に観光マップの二次元コードを貼付けることについては、観光地のPR等において有効であると考えてるので、ご提案のとおり掲載する。



【理事(兼)経済部長】

デマンド交通「いこCar」



榛葉 利広議員（公明党）



DXで業務軽減サービス向上

問 都城市の「DXチャレンジプロジェクト」を参考に、先端技術を取り入れる事業にチャレンジしてはどうか。

答 「DXチャレンジプロジェクト」は、他の地方自治体にも参考となる、大変ユニークな事業だと認識している。

本市においても、より良い住民サービスの提供や業務の効率化のために、どのような技術やシステムが最も適切であるかの検討をしてきた。しかし、新しいシステムなどを導入する場合は、導入や管理にかかる経費、安定性やセキュリティ対策など、様々な要素を十分に考慮する必要がある。

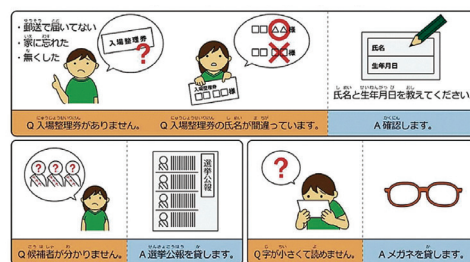
本市では、令和6年9月より「書かない窓口」や各種証明書のオンライン申請などを導入してきた。今後も他自治体を参考に情報化・デジタル化を推進していく。【市長】

誰もが投票しやすい環境改善

問 投票支援カードやコミュニケーションボードの導入についてどう考えるか。

答 「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」については、総務省の障がいのある方に対する対応例に示されたもので、これらについては、現在のところ導入していないが、障がいのある方や高齢の方がこれらを活用することにより、意思表示がしやすくなり、投票しやすくなると考えられることから、他市の導入事例を参考に導入を検討したい。

【選挙管理委員会書記長】



コミュニケーションボードの例



棚町 潤議員 (新政みずなみ)



災害時のペット避難について

問 災害時のペット避難に対する考えはどのようなか。

答 本市の犬猫の飼育頭数は犬1,784頭、猫2,400頭（想定）であるが、その他のペットについては把握していない。今まで避難所開設時にペット避難の問合せはないが、昨今は各地で災害が多発しており、その備えが必要である。

【経済部次長】

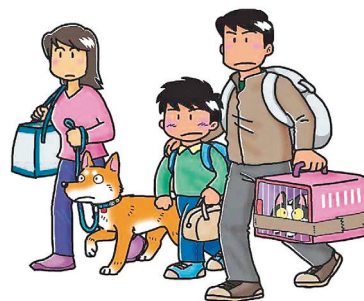
被災動物救援マニュアル策定 具体的な注意点は

問 被災動物救援マニュアルの具体的内容はどのようなか。

答 ペットと「同行避難」が出来る避難所は各地区コミュニティセンター及び小中学校の15か所を指定したが、動物アレルギー対策

や衛生管理上から「同伴避難」は出来ない。避難できるペットはキャリーに入る犬・猫などの小動物のみである。本市が準備する物資として避難場所の開設に必要な「スターターキット」や避難用テントを来年度迄に準備するが、エサや水などの物資については飼い主が準備する必要がある。また、他の避難者やペットにストレスを与える事の無いよう普段からのしつけもお願いしたい。今後は市のホームページや広報紙において広く周知していく。飼い主の理解だけでなく、避難者のご理解、ご協力が必要不可欠となる。

【経済部次長】



ペットとの同行避難



樋田 翔太議員 (新政みずなみ)



リニア中央新幹線工事の影響

問 リニア中央新幹線工事に伴うトンネル内の湧水や地下水位の低下、地盤沈下問題は大湫町民の生活を脅かしている。前回の質問後に発生した北薩トンネルの崩落事故を受け、JR東海はトンネル外周部への薬液注入を中止した。現在、明確な対策案がなく地域住民に不安の声も多い。地下水位低下や地盤沈下の現状はどのようなか。

答 西駐車場付近の観測井1は地表面から45m、大湫盆地西の観測井2は71mの水位低下があったが、現在は10mほど水位が上昇している。地盤沈下は、大湫コミュニティ消防センター付近の11.3cmが最大値である。水を通しやすい土質で発生する圧縮沈下は収束していると想定されているが、水を通しにくい土質で発生する圧密沈下により、今後数cm低下する可能性がある。【みずなみ未来部長】

住民の声に寄り添う対応を

問 この問題を決してJR東海と住民だけの問題とせず、市としても状況の把握や住民の声を聴き、住民に寄り添った対応をしていくべきではないか。

答 市の支援体制としてはJR東海の調査や対策を把握し、地域の皆様にしっかりと伝える。また、調整役、交渉役を担っていく。JR東海が示す対策とそれに対する岐阜県地盤委員会の意見を把握するとともに、大湫区長会を中心に地域の皆様の意見や要望をしっかりと捉え、的確にJR東海に伝えるなど、地域の皆様に寄り添った対応に努める。

【市長】



大湫町での測量



三輪田 幸泰議員（新政みずなみ）



専門的な外部講師による 水泳学習を実施

問 プール施設とプール授業の課題は何か。

答 小学校7校のうち、瑞浪小学校、土岐小学校、陶小学校、日吉小学校の4校でプールを使用しているが、釜戸小学校は、令和元年度から、稲津小学校、明世小学校は、令和4年度から、施設老朽化のため使用停止している。プール授業は、文部科学省の学習指導要領に基づき水泳授業を実施している。プール使用停止となっている3校の児童に対しては、バスを手配しプールのある学校に出向いて専門的な外部講師による水泳学習を年3回実施している。特に、高学年については、そのうち1回を交流授業として出向き先の学校の児童と一緒に水泳学習に取り組むことで、中学進学後を見据えた交流の機会としている。【教育委員会事務局長】

安全確保を徹底し 効率的な対応に取り組む

問 使用停止のプール施設をどうするか。

答 老朽化により使用を停止している小学校のプールについては、児童の安全を最優先に、危険が生じないように適切に管理している。解体については、多額の費用を要することに加え、解体後の跡地利用も定まっていない段階である。近々の課題である市内学校施設の老朽化改修や体育館への空調設置を優先的に進める中で、今後も、安全確保を徹底すると共にしかるべき時期に効率的な対応に取り組む。

【教育委員会事務局長】



使用停止しているプール施設



渡邊 康弘議員（新政みずなみ）



若手・中堅職員の登用機会と 組織の新陳代謝の実現を

問 理事職の部長兼務の問題に加え、管理監督職務上限年齢制が施行されたにもかかわらず、本市では60歳を超える管理職が複数名存在する現状がある。

制度の趣旨である「組織の新陳代謝」と「若手・中堅職員の登用機会の確保」を厳守するため、現在の体制をどのように考えているか。

答 60歳超の職員を雇用する様々な制度の対象となる職員を約20人配置している。これは、組織全体として新陳代謝を確保する一方で、これまで培われた知識や経験を活用して諸課題に対応し、円滑な市政運営を図るべく、適材適所に配置しているものである。今後は、60歳を超えても引き続き、管理監督職のまま勤務できる特例任用も活用していく。【市長】

児童・生徒を守る熱中症対策

問 保護者から、部活動や登下校時における熱中症について、切実な相談が届いている。

猛暑日の炎天下での活動は、その後の学習意欲や部活動等に深刻な影響を及ぼす。冷蔵庫の設置やスクールバスの導入などの先進事例を参考に、猛暑に備えた対策を根本から見直す必要があるのではないか。

答 柔軟かつ計画的な取り組みが必要であると考え。具体的には、行事の時期や方法の見直しに加え、空調などの環境整備を進め、猛暑に適応した継続可能な学校運営の在り方を検討し、子どもたちの安全・健康を最優先に取り組んでいく。【教育長】



公用車を活用したスクールバスの事例

令和6年度決算 事業評価

令和6年度に実施された事業のうち、5事業について評価をおこない、市議会として取りまとめた事業評価書を9月30日に水野市長へ提出しました。

必要性・実施主体・成果・効率性に、目標指数を加えた5つの視点で評価をしました。

市が事業の目的に対して目標指数を設定して事業を実施することから、成果と効率性に比重をおいて評価しています。



※必要性・実施主体・目標指数(各10点) 成果・効率性(各35点) 合計100点

水野市長へ評価書を提出

ふるさとみずなみ応援寄附金事業経費

評価 B (71.3点) 「良好である」

評価の理由 決算額 12,639万円 (予算額14,952万円)

ふるさと納税は、財源確保・知名度アップの観点から必要性が高く、重要な事業である。成果については、ポータルサイトや返礼品目を増加したことが、寄附額の増加につながり評価できる。ふるさと納税の市場は拡大すると考えられるため、瑞浪らしい返礼品を他課とも連携を取り、新規寄附者、リピーターの確保に努めていただきたい。

項目別評価結果

項目	評価 (点)
必要性	9.4
実施主体	8.8
目標指数	6.3
効率性	23.2
成果	23.6

家族介護支援経費 (クーポン)

評価 C (66.1点) 「概ね適正である」

評価の理由 決算額 138万円 (予算額 260万円)

対象世帯に、紙おむつ等を購入できるクーポンを交付する事業として、経済的負担軽減を図る事業であり必要性が高い。成果については、令和6年度から条件付きで要介護3の方も対象としたことは評価できる。ケアマネジャーとの連携がスムーズで、一定の効率性が確保できている。今後も申告漏れが無いように連携を強化してほしい。

項目別評価結果

項目	評価 (点)
必要性	8.4
実施主体	8.4
目標指数	4.7
効率性	23.2
成果	21.4

有害鳥獣被害防止対策事業

評価 C (58.1点) 「概ね適正である」

評価の理由 決算額 791万円 (予算額 791万円)

有害鳥獣による農作物被害が増加傾向のため、積極的な市の支援が必要である。また、目標指標には、農作物被害だけでなく用水路及び農道などの被害額も含めるべきである。電気柵などの防護だけでなく、駆除が必要であると考え。また、鳥獣被害対策実施隊の支援の直し、若返りと増員も必要である。

項目別評価結果

項目	評価 (点)
必要性	9.1
実施主体	7.5
目標指数	4.7
効率性	19.7
成果	17.1

道の駅整備事業

評価 D (45.8点) 「問題がある」

評価の理由 決算額 637万円 (予算額 706万円)

近隣の道の駅、きなあた瑞浪との住み分けに懸念があること、事業開始から8年経過しているため、現在施設整備が本当に求められているのか疑問である。

瑞浪恵那道路及びリニア工事の遅れにより事業の進捗が遅れているが、完成が遅れることでニーズも変化するため、再度検討し直す必要もある。

項目別評価結果

項目	評価 (点)
必要性	5.6
実施主体	6.6
目標指数	3.8
効率性	19.7
成果	17.1

その他の事業	地域新電力会社設立調査事業	決算額 1,696 万円 (予算額 1,696 万円)	D(45.9点) 「問題がある」
--------	---------------	--------------------------------	------------------

高校生との意見交換会を開催しました

これから主権者となる高校生の皆さんに政治を身近に感じていただくため、市内3つの高校で意見交換会(出前講座)を開催しました。多くの生徒にご参加いただき、貴重なご意見をいただきました。

また、市議会の活動を知っていただくための「議会報告会」も同時開催しました。

【共通テーマ】若者の投票率低下とその解決策

投票に行かない理由(生徒の意見)

- ▶ 関心がない、自分に関係ないと感じる。
- ▶ 選挙や候補者、政治の仕組みを知らない。
- ▶ 選挙に行くのが面倒。
- ▶ 政治家への信頼が低い、怪しいというイメージがある。

投票率を増やすための提案

- ▶ 利便性の向上：インターネット投票、二次元コードの利用、投票場を学校に設置。
- ▶ インセンティブ：罰則や報酬を付ける、選挙日を3連休にする。
- ▶ 教育・啓発：学校での学習機会の増加、政治イベントの開催、選挙ドラマの制作。
- ▶ 強制力：条例や法律で強制的に投票を義務付ける。

【学校別】独自のテーマと瑞浪市への提言

中京高校 (7月1日実施 / 243名参加)

テーマ: 住みやすい、魅力ある瑞浪市にするためには？

- 交通：交通機関の充実が必須。
- 支援：高齢者・子育て・障がい者など、各年代への手厚いサポートの充実。
- 経済：商業施設・工業施設の発展を促進する。
- 施設：カフェ、レストラン、映画館など、人が集まれる施設の誘致。
- 環境：森林を利用したアスレチックなど、遊べる場所の整備。



「魅力ある瑞浪市」について発表



議員と生徒によるグループワーク

瑞浪高校 (7月10日実施 / 14名参加)

テーマ: 高校生・若者にとって魅力的な瑞浪市にするためには？

- 交通の利便性：学校から駅までのバスの本数を増やしてほしい。
- 経済的支援：コミュニティバスの無料化、交通費の補助。
- 駅前の活性化：カフェやカラオケなど商業施設の誘致。
シャッター街を活用した学習スペースの設置。
- 学習環境：瑞浪高校の場所を平野部に移動。
部活動の応援制度。

麗澤瑞浪高校 (7月15日実施 / 60名参加)

テーマ: 瑞浪市をどのような場所にしていきたいのか。理想の瑞浪市は。

- 政策転換：少子高齢化に対応し、政策を高齢者から若者向けへシフトする。
- 情報発信：子育て支援、SNSを利用した情報収集環境の整備。
- 経済・雇用：働く場所を増やすための工場誘致。空き店舗の活用促進。
- まちのコンセプト：「環境都市みずなみ」や「シニアタウン」の実現。
- 交流：地域との様々な情報の共有と交流が最重要。



活発な意見交換

総務厚生学教委員会

委員長 小木曾 光佐子

行政視察報告(令和7年7月8日～9日)

・イエナプラン教育について

イエナプラン教育の特徴は、学年をまたいだ異年齢のグループで対話・遊び・仕事（学習）・催しという4つの活動を行うことで、子どもの自律性と共生を重視し、子どもが自分で考え、行動する力を育むことを目指す点にあります。今回、イエナプラン教育を取り入れている公立の大規模校と小規模校へ視察に行きました。

・大規模校（名古屋市立山吹小学校）

山吹小学校は児童数680名の大規模校です。「YST（山吹セレクトタイム）」では、子どもが自ら学習計画を立て、それぞれが学習進度に応じて計画を修正し、教員はやり残しのないよう伴走支援を行うもので、自由でありながら「個別最適学」を実現することで基礎学力も上がっているとのことでした。



山吹小学校

・小規模校（広島県福山市立常石ともに学園）

常石ともに学園は、公立校で唯一「イエナプラン教育校」として認定されています。通学区は特定せず、毎年1学年30名を募集しています。

学校では、低学年と高学年で分けた3学年混合のグループを編成し、学年を超えた子ども同士の対話を通じて学びを共有することで、自主性や協働性を身に付ける効果が広がるとのことでした。また、学校と地域の距離を近づける仕組みがあり、学校活動や行事を大人と交流することで児童にも良い影響があるとのことでした。



常石ともに学園

複式学級が開始された瑞浪市において、イエナプラン教育を取り入れた異年齢集団での新しい教育方法について知見が得られました。今回の視察を参考に、瑞浪市のより良い教育の在り方を検討していきます。

地域経済建設委員会

委員長 大久保 京子

第2回 勉強会報告（令和7年7月9日）

- ・市道上平5号線道路改良事業
- ・市道南垣外北野線道路改良事業
- ・市道文化センター前線（市施行道路改良工事区域）

市道3路線について、現状と今後の工事の見通しについて説明を受けました。工事には引き続き時間を要するため、市民の皆さまの声を伺いながら状況を確認してまいります。



市道3路線について学ぶ

行政視察報告（令和7年8月5日～6日）

【広島県尾道市】広島県鳥獣対策等地域支援機構「tegos」について

尾道市は「広島県鳥獣対策等地域支援機構」に参画し、フィールドアドバイザー(FA)の派遣を受けることで、きめ細かな対策を実施しています。FAの活動は、地元農業者との信頼関係の構築が重要であることがわかりました。市民が専門家から、正しい防護柵の設置方法等を学ぶことは、職員の負担軽減にもつながると考えられます。

【京都府亀岡市】「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」について

亀岡市は、「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」として、環境に配慮した取り組みを数多く行っています。「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」の制定については、職員のモチベーションも高く、多様な立場から幅広く意見が言える体制が構築されており、見習うところが多くありました。



亀岡環境プロモーションセンター

リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会 委員長 成瀬 徳夫

国道19号瑞浪恵那道路工事の情報交換会

7月1日に土岐地区、7月14日には釜戸地区において、国道19号瑞浪恵那道路工事に関連する地区区長との情報交換会を開催しました。

同工事について、主に「いつ完成するのか」「早期に完成してほしい」「安全に進めてほしい」との意見がありました。

また、付帯した土木や農林に関する意見や要望もありました。

いただきました意見や要望を整理し、所管の部署へ伝えました。



情報交換会【土岐地区】



情報交換会【釜戸地区】

リニア中央新幹線工事の勉強会

7月24日、JR東海中央新幹線推進本部中央新幹線岐阜西工事事務所より講師を招き「リニア中央新幹線工事の取り組みと進捗状況について」の勉強会を開催し、下記のことについて説明を受けました。

1. 南垣外工区・武並工区のトンネル掘削等の進捗状況
2. 大湫町の地盤沈下等への対応
3. トンネル発生土の運搬状況

質疑応答では、「地盤変動がトンネル工事に起因すると判断される基準はあるか」との問いに、「明確に基準はありませんが、関係者の方としっかり話し合いをして、納得頂けるような対応をとっていくことになります」との回答がありました。



国道19号瑞浪恵那道路促進議員連盟研修会

8月19日、恵那市議会と合同で「国道19号瑞浪恵那道路促進議員連盟研修会」を恵那市役所で開催しました。

講師として中部地方整備局多治見砂防国道事務所の石川副所長を招き、瑞浪市議会議員、恵那市議会議員はじめ41名が参加して、工事の進捗状況の説明を受けました。

最後に、7月1日、14日に開催した地区区長との情報交換会で出た要望を書面にて説明し、石川副所長にお渡ししました。



9月定例会議決結果一覧

案 件	議案番号	議 案 名	付託先	採決結果
条 例	議第 51 号	瑞浪市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務厚生学教	可決
	議第 52 号	瑞浪市職員の育児休業等に関する条例及び瑞浪市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務厚生学教	可決
	議第 53 号	瑞浪市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地域経済建設	可決
	議第 54 号	瑞浪市地域子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務厚生学教	可決
	議第 55 号	瑞浪市子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務厚生学教	可決
	議第 56 号	瑞浪市森林の火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	地域経済建設	可決
	議第 57 号	瑞浪市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地域経済建設	可決
人 事	議第 58 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	同意
	議第 59 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	同意
	議第 60 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	同意
	議第 61 号	瑞浪市教育長の任命につき同意を求めることについて	—	同意
	議第 62 号	瑞浪市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	—	同意
その他	議第 63 号	東濃中部病院事務組合の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約の変更について	総務厚生学教	可決
	議第 64 号	市道路線の廃止について【宿線】	地域経済建設	可決
	議第 65 号	市道路線の廃止について【白山橋線】	地域経済建設	可決
	議第 66 号	市道路線の認定について【向・土合線】	地域経済建設	可決
	議第 67 号	工事請負変更契約の締結について【一般国道19号線ほか1路線道路改良工事】	地域経済建設	可決
	議第 68 号	財産の取得について【小中学校で使用する学習用タブレット端末を更新】	総務厚生学教	可決
予 算	議第 69 号	令和7年度瑞浪市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	可決
	議第 70 号	令和7年度瑞浪市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
	議第 71 号	令和7年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
	議第 72 号	令和7年度瑞浪市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
	議第 73 号	令和7年度瑞浪市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
	議第 74 号	令和7年度瑞浪市水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
	議第 75 号	令和7年度瑞浪市下水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
	議第 76 号	令和7年度瑞浪市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	可決
認 定	認第 1 号	令和6年度瑞浪市一般会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第 2 号	令和6年度瑞浪市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第 3 号	令和6年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第 4 号	令和6年度瑞浪市介護保険事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第 5 号	令和6年度瑞浪市駐車場事業特別会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第 6 号	令和6年度瑞浪市水道事業会計決算の認定について	予算決算	認定
	認第 7 号	令和6年度瑞浪市下水道事業会計決算の認定について	予算決算	認定

※議第64号～議題68号は、内容を分かり易くするため、議案名の後ろに【 】で補足しています。

編 集 後 記

この広報紙が第73号となり、第1号から18年が経過致しました。これまでも常に市民の皆様へ親しまれ、市民参加型の広報紙となることに努めて参りました。しかし、議会が何をしたかではなく、その決定が住民の暮らしにどう関わるのかといった点が課題であります。住民視点に徹底することへの取り組みをこれまで以上に分かりやすくし、手に取って読んで頂ける「議会ちゃんねる。」となるよう、取り組んで参る所存ですのでどうか宜しくお願い致します。

地域経済建設委員会 委員長 大久保京子

12月定例会の予定

- ◆会期
11月26日(水)～12月19日(金)
- ◆市政一般質問
12月16日(火)9時～
12月17日(水)9時～

ぜひ議場へ傍聴に
お越しください。



発行／瑞浪市議会 編集／議会広報広聴委員会
TEL／0572-67-1112 FAX／0572-68-2043
E-mail／gkai@city.mizunami.lg.jp